

高速鉄道部会交渉（5月23日）・高速分科会交渉（6月18日）

西神・山手線のワンマン運転化や駅務遠隔化の導入の提案に対し当局に申し入れ



発行元
神戸交通労働組合
〒653-0004
神戸市長田区四番町2-1-2
神戸交通労働組合会館
TEL 078-575-6712
FAX 078-575-3848
編集発行人
佐藤 秀樹
毎月15日発行
定価1部10円
組合員の購読料は組合費に含む



西神・山手線のワンマン運転化や駅務遠隔化の導入をめぐり、5月23日に行われた第1回高速鉄道部会交渉、6月18日の高速分科会交渉と相次いで交通当局と交渉を行い、現場の実態と課題を踏まえた議論が交わされました。安全確保や人員配置、高齢運転士の勤務継続、駅務時間の見直しなど、多岐にわたるテーマで組合は改善を求める、当局は制度設計の方向性を示しました。現場の声をいかに制度に反映させるかが、今後の焦点となります。

高速鉄道部会交渉

（5月23日）

行いました。

当局からは、2026年1月か

高速鉄道部会交渉は、当局から
繁田高速鉄道部長ら4名、組合から
ら平尾高速鉄道部長ら4名が出席
し、高速鉄道部門における経営改
善策について、西神・山手線のワ
ンマン運転化と駅務遠隔化システ
ムの導入を主な議題として、高速
鉄道部会交渉および分科会交渉を
手線の委託駅の直営化や勤務時間

の見直しも提案されました。
駅務遠隔化システムの導入につ
いては、駅業務の抜本的な見直し
や勤務体制・勤務時間の見直し、
海岸線委託駅の直営化などが含ま
れています。

組合からは、ワンマン化後の安
全管理体制や遠隔システム導入後
の緊急時対応について質しました。
また、時差仮眠の導入、提案
された21時間勤務シフトにおける
60歳以上の職員の健康管理、乗務
員の視力検査の実施漏れとその再
発防止策などについても質問や懸
念を示しました。さらに、カスタ
マーハラスメント対策として、各
部署や全駅に録音機能付き電話を
導入してほしいとの要望を行いま
した。

今後の交渉は、高速運輸部門は
高速運輸分科会で整理後、支部交
渉へ、技術部門は支部交渉で詳細
を話し合うことが確認されました。
換会では、今後数年間の運輸事務
職員や運転士の採用計画について
も言及がありました。

高速分科会交渉

（6月18日）

当局からは、2026年1月か
田高速鉄道部長（地下鉄運輸
サービス担当）ら4名、組合から
平尾高速鉄道部長ら3名が出席

高速分科会交渉は、当局から繁
田高速鉄道部長（地下鉄運輸
サービス担当）ら4名、組合から
紙参照

の見直しも提案されました。
駅務遠隔化システムの導入につ
いては、駅業務の抜本的な見直し
や勤務体制・勤務時間の見直し、
海岸線委託駅の直営化などが含ま
れています。

組合からは、ワンマン化後の安
全管理体制や遠隔システム導入後
の緊急時対応について質しました。
また、時差仮眠の導入、提案
された21時間勤務シフトにおける
60歳以上の職員の健康管理、乗務
員の視力検査の実施漏れとその再
発防止策などについても質問や懸
念を示しました。さらに、カスタ
マーハラスメント対策として、各
部署や全駅に録音機能付き電話を
導入してほしいとの要望を行いま
した。

今後の交渉は、高速運輸部門は
高速運輸分科会で整理後、支部交
渉へ、技術部門は支部交渉で詳細
を話し合うことが確認されました。
換会では、今後数年間の運輸事務
職員や運転士の採用計画について
も言及がありました。

【議事録等の資料については、別

都市交評2025年度第3回鉄軌道部会

公共交通の持続可能な運営に向けた課題で議論を交わす



仙台市交通局市電保存館を見学

会議では、2026年度第1次
政府予算要求の内容が協議され、
国土交通大臣宛ての要請書が示さ
れました。

2025年7月31日から8月1日にかけ、仙台市で「都
市公共交通評議会 2025年度第3回鉄軌道部会」が開催
され、公共交通の持続可能な運営に向けた様々な課題につ
いて議論が交わされました。部会には松岡部会長（名古
屋）をはじめ、全国から多数の出席者が参加し、2025
年度の政府予算要求や将来的な人員不足への対応策、安全
運行確保に向けた取り組みなどが話し合われました。

期を9月頃に変更することで、他社への応募者流出を防ぐことを提案しました。京都交通労働組合も今年度の採用試験からS P I方式を導入する予定です。

乗務員の安全確保に関わる「睡眠時無呼吸症候群（S A S）」対策も主要な議題となりました。各組織で検査体制は異なるものの、

要請書では、依然として厳しい経営状況が続く公共交通事業者への新たな支援策の拡充が強く求め

運賃制度の導入も要望されました。災害対策では、豪雨による地下駅の浸水対策に国による助成措置を創設することや、バス事業者

3年に1度のスクリーニング検査を基本としています。札幌市では、SASと認定された場合、年1回以上の通院が確認できれば乗務可能です。簡易検査・確定検査費用は当局負担ですが、治療費は自己負担となります。一方、横浜交通労働組合では、CPAP治療の使用率が70%未満の場合、2日連続で乗務停止となる厳しい基準を設けています。精密検査費は最高2万円まで補助されますが、治療費は自己負担です。

【読者投稿 ハーラーさん】
皆さんには幽霊を信じますか?
今石屋川営業所では、にわかに心
靈ブームが巻き起こっています。
事の始まりは異動してきたM
氏。M氏は特に靈感が強いらし

ある日、所屬長に「二二」はお祓いなどしないのですか? 2階の廊下が特にひどく、歩くだけで胸を締め付けられ息切れするのです」

「何か心靈現象を感じた」とはありますか？」
所屬長は宿直勤務である係員に異例の聞き取りを始めます。
すると、出てくる出てくる。

「深夜に誰もいないはずの会議室のドアがバタンバタンと開いたり閉まつたりを繰り返す」

「就寝中、クーラーの電源を切られた」

「就寝時に手元で消したはずの室内灯が、起床時には壁の電源ごとOFFにされていた」

などなど。

現在石屋川営業所では、お祓いの盛り塩を各所に設けております。

近頃暑い日が続いていますが、背筋が凍るような体験をしに、石屋川営業所へいらしてみませんか？

【読者投稿 h i r oさん】